

# ブルネイ・ダルサラーム国を訪問

異文化を理解し、国際的な視野を広げるとともに、高浜市や日本のよさを見つめ直すことを目的に実施している中学生海外派遣。今年は8月16日～23日に、高中生7人・南中生3人がブルネイ・ダルサラーム国を訪問しました。

ブルネイは、人口約40万人、東南アジアのボルネオ島北部に位置しているイスラム教国。高浜市から三州瓦を輸出した縁から、「愛・地球博」の際にフレンドシップ国となりました。

高浜市では平成20年度から、毎年、中学生をブルネイに派遣しており、今年度で10年目を迎えます。生徒たちは三州瓦が使われている王宮、モスク、熱帯雨林や水上集落を見学したほか、学校での授業体験などをおして、現地生徒との交流を深めました。また、セレモニーでは、「ソーラン節」を舞い、「BELIEVE」「未来へ」などの合唱を披露し、お互いの文化を紹介しました。

9月28日には、「帰国報告会」で体験談や今後の抱負などを発表。この貴重な経験は、かならず成長の糧となるでしょう。



▲訪問先での集合写真

## 派遣団参加者の感想

### ★深谷拓也さん（高浜中学校）

今回は海外派遣の機会を与えてくださったことに心から感謝しています。はじめは言語も生活習慣も違い、戸惑うこともありましたが、ブルネイの皆さんの心遣いや温かさに触れ、コミュニケーションをとろうとする気持ちの大切さを改めて感じることができました。

### ★神谷春花さん（南中学校）

ブルネイで過ごした10日間は一生忘れられないものとなり、そこで出会ったホストファミリーやクラスメイトは大切な人たちとなりました。また、経験のないことに挑戦することで、新しいものを得られるということを学びました。海外派遣に関わってくださったみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。

問合せ先 いきいき広場内学校経営グループ ☎52-1111（内線345）

## 地域で見守る子育て！子育て！



### 発達障がいのお子さんの成長・子育てを地域で見守りましょう

近年、『発達障がい』という言葉をよく耳にするようになってきました。発達障がいは脳機能の障がいで、種類や症状はさまざまです。軽度を含めた発達障がいの出現頻度は10人に1人であるといわれており、めずらしいことではありません。子どものかんしゃくや落ち着きがないなどの場合「本人の努力不足」や「育て方が悪い」、「わがまま」と周囲からの理解を得にくいことが多く、本人や家族を苦しめ、自分に自信を持てなくなり、うつ病などの「二次障害」を起こすことがあります。その子らしく自信を持って社会で生きる力をつけるためには、特性にあった適切な対応が望まれます。

また、発達障がいのお子さんを持つ親は、気が休まらないことが多く、子育てを辛く感じたり孤立した育児になりがちです。周囲の配慮によって、子も親も生活しやすくなるのではないのでしょうか。

#### 地域でできること

- 地域でつながり、温かく見守る
- 正しい知識を持ち、子どもとその家族へ配慮する

問合せ先 いきいき広場内保健福祉グループ ☎52-9871

## CAMERA REPORT

9/2  
[土]

### 第36回西三河地域子ども会球技大会

西三河地域子ども会育成連絡協議会主催の球技大会（ドッジボール）が西尾市総合体育館で行われました。高浜市からは雷神（男子・高取地区）、T・ガールズ（女子・高取地区）が参加し、熱戦をくりひろげました。仲間といっしょに戦うスポーツの楽しさを感じているようでした。

## カメラレポート

